

劇団1980

ICHIKYU-HACHIMARU

第83回公演

とりあえずの死

—日本棄民伝—

作 藤田 傳

演出 小林七緒

流山児★事務所

流れ流れて 落ちゆく先は

北はシベリヤ 南はジャバよ

いづこの土地を 墓所と定め

いづこの土地の 土と終らん—

2025(令和七)

11/6<木>▶11/10<月>

東京芸術劇場
シアターウエスト

<http://www.gekidan1980.com/>

劇団1980
GEKIDAN ICHIKYU-HACHIMARU

とりあえずの死

作 藤田 傳
演出 小林七緒 流山見★事務所
—日本棄民伝—

中国黒竜江省哈爾濱(ハルビン)——冬にはマイナス四〇度の極寒の凍土となるこの地に、中国国営哈爾濱外僑養老院がある。この施設に暮らす四人の日本人女性。軍国日本に翻弄され、戦後の繁栄日本から忘れ去られた中国残留婦人たちである。
1992年、バブルの狂騒の中で崩れ行くニッポンを痛烈に逆照射しながら藤田傳が書き下ろした『国家に見棄てられた人々』の鳴咽と慟哭の物語。決して消えることのない激情を、戦後八十年の日本社会に再び投げかける。

〈STAFF〉

装置……………小林岳郎 (流山見★事務所)
照明……………増子顕一 (ステージ・ライティング・スタッフ)
音響……………齋藤美佐男 (東京演劇音響研究所)
衣裳……………竹内陽子
音楽……………諏訪 創
振付……………スズキ拓朗 (CHAiROIPLIN)
映像効果……………濱嶋将裕
舞台監督……………西條義将
撮影……………コラボニクス

〈協力〉

株式会社HTS/有限会社SHIN ENTERTAINMENT
流山見★事務所/劇団俳優座/劇団文化座
青年座映画放送/エンパシィ/文学座/劇団昴
ウィーズカンパニー

〈協賛〉

株式会社アルファインテル
株式会社大五商会
浅井食品株式会社

〈主催〉

有限会社劇団1980

〈出演〉



神原弘之



上野裕子



新井 純



早野ゆかり



伊藤弘子



小谷佳加



角田萌果



光木麻美



大田怜治



山田ひとみ



木之村達也



山本隆世



藤川一歩



磯部莉菜子



山川美優



望月真理子



達



曾田昇吾



鶴田しげ里



立川義幸

2025 11/6《木》—11/10《月》 東京芸術劇場 シアターウエスト

	11/6(木)	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)
13:30			●	●	●
18:30			●		
19:00	●	●			

日時指定/全席指定席

一般=6,000円(前売・当日共)

夜割引=4,500円(前売・当日共)

シニア(70歳以上)=5,000円

U-25/障がい者(同伴者ご招待)=3,000円

●当日券は、各日の開場30分前より劇場受付にて発売いたします

チケット取り扱い/お問い合わせ

前売・予約開始 9月25日(木)より

●TEL: 03-3321-7898(平日/11時~17時受付・土日祝休)

●FAX: 03-3321-9092(24時間受付)

●Mail: ticket@gekidan1980.com

●Quartet Online

<https://www.quartet-online.net/ticket/gekidan1980-toriaezu>



藤田 傳 (ふじた・でん)

劇作家・演出家。1932年、台北市生まれ、大分県に育つ。日本大学芸術学部中退後、新協劇団・劇団葦などを経て、劇団俳優小劇場へ。『剣ヶ崎』『琉球処分』『黒念仏殺人事件』などを脚本・演出。71年、俳優小劇場解散後はTV、ドキュメンタリーに携わるが、80年、映画監督今村昌平が設立した横浜放送映画専門学院で若い俳優たちと出会い、劇団1980を創立。

〈老人三部作〉〈ツイテナイ日本人三部作〉

〈日本土民考三部作〉など、社会的弱者の怒り・悲しみから現代ニッポンを照射した多数の作品を発表。95年「行路死亡人考」の脚本・演出で紀伊國屋演劇賞。庶民目線の骨太な喜劇ともいべき劇作で、発病後も執筆・演出活動は精力的に続いていた。

2014年、死去。享年81歳。



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場 シアターウエスト
池袋駅西口より徒歩3分(駅地下通路2b出口と直結)
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111